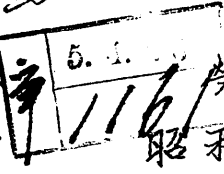


一東京殺護株式會社ハ解雇職工二十名ノ内本日ヨリ二週間以
 内ノ期間ニ於テ會社ノ自由意志ニ依リ十名ヲ解雇前ノ待遇ニ
 於テ新規採用スルコト
 但シ採用者ノ意志ニヨリ十名ニ違ハサルコトナルベシ
 二全會社ハ解雇者十二名ニ對シ金封封（去年三月六日）ヲ賜
 共スルコト
 三爭議團（解雇職工二十名及応募者）ハ本日中ニ解散シテ後
 會社ニ對シ一切迷惑ヲ及ボサハルコト
 右金封封ノ内訳ハ去年二月六日付ノ解雇者ニ去年四月ノ爭議費用
 トスルコト、シ現金ハ二日正午迄因守藏室ニ於テ爭議團代表者
 ニ手交シ爭議團ハ復職者ノ人名決定ニテ保管ニ分配ハ主腦者ニ
 一任スルコト、ナレリ
 右及申（通）報候也

〆

勞務第一二七四號
 昭和五年四月二十三日

警視總監 丸山 鶴吉



内務大臣 安達謙藏殿
 社會局長 官殿
 各廳府縣長官 殿

北海道 青森 岩手 秋田 山形 福島 茨城 栃木 群馬 埼玉 千葉 東京 神奈川 大阪 京都 兵庫 奈良 和歌山 徳島 香川 高松 愛媛 高知 福岡 熊本 鹿兒島 那覇

（解決報）

東京殺護株式會社勞働爭議後ニ於ケル復職工問題ニ關スル件
 爭議解決条件ノ一タル十名復職問題ニ關シ本月十四日被解雇代表者ヲ招キ交渉
 要旨
 一結果去年三月十日ヲ以テ解決セリ

標記會社勞働爭議解決條件タル被解雇者ヨリ十名復職ノ件ハ既
 報（四月四日勞務第一〇〇三號）セルカ其後會社側ニアリテハ解
 雇職工中渡辺義次ハ四月二日ヨリ復職セシメ他ノ九名ニ就テハ